



妻と一緒に海に来たのだけれど
気が付けばはぐれてしまっていた

俺は姿の见えない妻を
探し回った

後はあっちの岩場の方か……

んああっ……ん
んんっ
あ、あなた……んくっ……
探しに来てくれたの？

！
お、おまえ
なにを……

んああっ……ん
ごめん……んくっ……なさい
子作りしたいって……頼まれちゃって



お前何言ってるんだ……

んああつ……ん
この子が……
満足するまで
少し待っていてあげて……

おれは男に
掴みかかろうとしたが
なぜかできなかった
体が言うことを聞かない……

あゝ♡

んぐ♡

けあ

けあ

ずる。ハッ

ハッ

ずる。

ハッ

く

んああっ……ん
この子のおちんぽ
んくっ……
あなたより
太くて……ああっ……
大変なのよ

あ、けど遠慮はしなくていいからね
お婆さんのおまんこ好きに使って
いいのよ

うぐっ
確かに俺のより太いものが
妻の体を貫いている

さつきからあなたのだじゃ届かないところまで
突かれて……ああああっ……
んあっ……んくっ
凄く気持ちいいのお

すぽっ

すぽっ

すぽっ







んくっ……んおっ
おほっ……
もう出そう？
中に……出していいからね

おばさんの
子宮におもいつきり
出してね

お、おい
や、やめろ……



んくっ……すっい
いっぱい出たね
よく頑張ったね
おばさんの子宮
君の精液でいっぱいだよお

はっ
はっ
はっ

はっ

はっ

はあっ……はあっ……
んくっ……な、なに？
……うん
わかったわ

あなた、悪いけど
先に帰ってくれる？

えっ

私、この子に気に入って
もらえたみたい♡

何日かこの子の性処理オナホとして頑張ってくるね♡

そんなばかな……
しかしなぜか俺は受け入れてしまった……













